事例No.	713
公表年度	H30
団体の属性	一般市
団体名	千葉県習志野市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメント

事例内容・タイトル

大久保地区公共施設再生事業（集約化・公共施設最適化事業債・公共施設等適正管理推進事業債）

出典

公共施設最適化事業債を活用した先進事例

千葉県習志野市（人口17.3万人）

大久保地区公共施設再生事業

事業の概要

京成大久保駅周辺1km圏内にある4つの施設（公民館、図書館、児童館等）と、同駅前に立地する3つの同種の施設の機能を統合し、PFI事業により、同駅に隣接する中央公園内に2つの新たな生涯学習施設を整備する。

事業のポイント

習志野市の公共施設再生のモデル事業







北館
（図書館、公民館、ホール）
新築＋リノベーション



南館
（体育館、こどもスペース等）
リノベーション

複合化　7つの施設→2つの施設　延床面積7,561㎡→7,338㎡

官民連携　「PFI（新築及びリノベーション併用型）」＋「定期借地権による民間付帯事業」の一体的な整備運営

事業の効果

○ 駅前に立地する公共施設としての利便性を確保するとともに、都市公園の有効活用ができる。
○ 民間活力を導入した公共施設の複合化によって、整備費と維持管理・運営コストの削減が図られる。
○ 生涯学習施設整備事業と民間付帯事業（カフェ及び若者向け賃貸住宅）を一体的に実施することにより、多世代が交流する賑わいの場の創出と、定住人口の増加が期待できる。